

低出生体重児救命率

目的

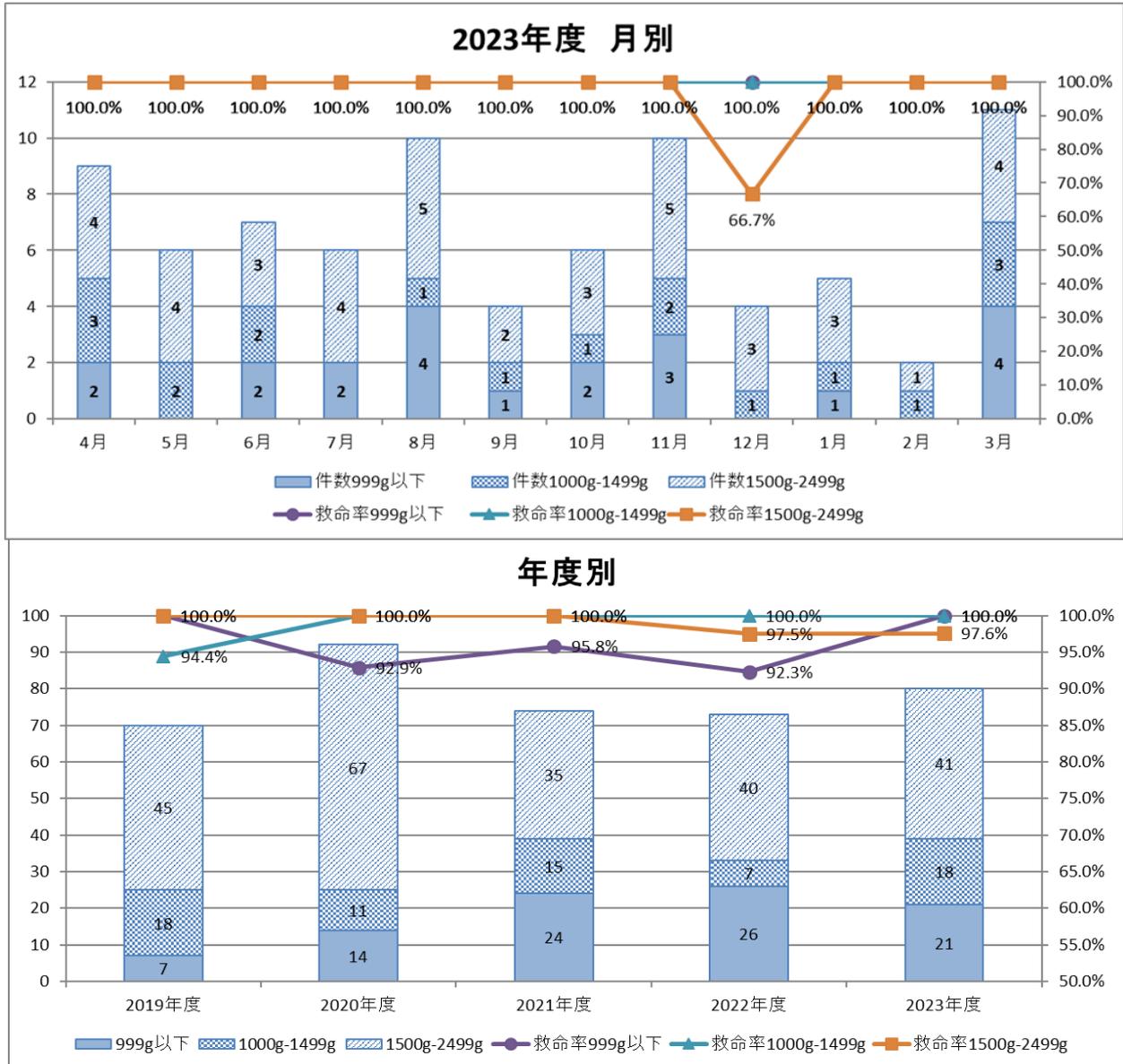
診療の質観測

分母

出生体重が2500g未満の患児

分子

分母のうち転帰が死亡以外の患児



データ抽出内容

診療情報管理DBから抽出

※低出生体重児2500g未満ICDコード…P07.0、P07.1a、P07.1b

データ分析コメント

2023年度の出生体重2500g未満の低出生体重児の救命率は、出生体重1500g未満の極低出生体重児については100%で、出生体重がより小さい症例についての診療成績が向上してきています。さらに出生体重が小さい1000g未満の超低出生体重児の救命率も100%で、小さく生まれた新生児に対する診療及び看護の質が向上してきていると考えています。引き続き、スタッフ一丸となってハイリスク新生児とその後家族のために尽力していきたいと考えています。